

診療科	曜日	月	火	水	木	金
脳神経内科 (新患は予約制)	新患	久永 欣哉/松本 有史	松本 有史	久永 欣哉	金子 仁彦	金子 仁彦
	再来	久永 欣哉	久永 欣哉	金子 仁彦	久永 欣哉	久永 欣哉
		永野 功	伊藤 博明	松本 有史	伊藤 博明	
内科		清野 仁	清野 仁	伊藤 博明	清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
			齊藤 秀行	齊藤 秀行		東北大学病院から
循環器内科	午前		東北大学病院から			東北大学病院から
	午後	東北大学病院から (検査日)				
呼吸器内科				三橋 善哉		
消化器内科	午後			県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	県立がんセンターから (検査日) 第2・4週(木を基準)	
アレルギー科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
		東北大学病院から		東北大学病院から		東北大学病院から
整形外科	午後		県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週			県立がんセンターから (13:30~15:30)
形成外科	午後		齋藤 八十			澤村 武 志藤 祥子 (隔週交替 13:30~15:30)
皮膚科					東北大学病院から	
脳神経外科		永松 謙一	安藤 肇史	仁村 太郎	(手術日)	安藤 肇史
		(仁村 太郎)				永松 謙一
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	頭痛外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	もの忘れ外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ALS外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	糖尿病外来				東北大学病院から	
	禁煙外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	漢方外来		志澤 聡一郎			志澤 聡一郎
	入れ歯外来				伊藤 秀美	伊藤 秀美

受診される方へ ----- 交通のご案内 -----

①受付時間は8:30~11:00です。

②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、急患の方は随時受付いたします。
お問い合わせ先 0223-37-1131

③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,700円を負担していただくことになりますので予めご了承願います。

●自動車でおいでの方●

■仙台方面から■

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。

高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

■相馬方面から■

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

●交通機関をご利用の方●

■仙台方面から

JR常磐線互理駅下車、タクシーまたはJR代行バス(詳しくはお問い合わせください。)





み や ぎ
- 62号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院
発行責任者 広報委員長 安藤 肇史
〒989-2202
宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地
TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

新年のご挨拶

院長 永野 功

新年明けましておめでとうございます。今年、平成31年(2019年)は、宮城病院が創立されてから、80周年の節目の年に当たります。当院は「傷痍軍人宮城療養所」として昭和14年(1939年)2月28日この地に創立されました。1939年は日中戦争のさなかで、5月にはノモンハン事件も勃発するなど我が国は戦時下であり、全国には多くの傷痍軍人がおられたと思います。初代所長の畠山辰夫先生によると、1944年5月に仙台出身の文学者土井晩翠が八枝夫人とともに宮城療養所に慰問に来たそうです。畠山先生は晩翠に「荒城の月」の揮毫と宮城療養所所歌の作詞を依頼したそうで、今でも晩翠自筆の「荒城の月」の扁額と療養所所歌の額が応接室に掲げられています。これをながめると、当院の歴史の長さ、そして戦争から平和への世相の変化を痛感させられます。昭和から平成を経て宮城病院はこの地で医療を継続してきましたが、今年は次の元号が始まる意義深い年でもあり、歴史というものを考えるにはちょうど良い機会かなと思います。年末年始にテレビを観ていたら、ベストセラー「サピエンス全史」、「ホモ・デウス」の著者ユヴァル・ノア・ハラリが、特別番組で池上彰さんと興味深い対談を行っていました。われわれホモ・サピエンスは20-30万年前に東アフリカに現れ、ホモ・エレクトゥスやネアンデルタール人のような他の人類が絶滅するなかで唯一の人類として生き残りました。特に2-4万年前に絶滅したネアンデルタール人とは、この地球上で一時期併存したそうです。ハラリによると、ホモ・サピエンスが他人類を圧倒して生き残ったのは、7万年前におきた「認知革命」の結果だと言います。この革命によってホモ・サピエンスは想像する力と言語をあやつる力を獲得し、集団で神話や宗教など想像上の現実(虚構)を信じられるようになった。そして、共通信念のもとで多数の人間が協力して集団行動をすることが可能になり、共同体を形成して結果的に村や都市を築くようになったと。認知革命後、ホモ・サピエンスはアフリカを出て全世界に散らばり、他の人類を一掃してしまいました。共通の信念を信じる力は、ナショナリズムのように利点と欠点がありますが、理想を掲げより高い目標へ我々を導く力でもあります。この節目の年に、われわれ宮城病院の職員は「良い医療を安全に心を込めて」の目標をもう一度確認し、そこに向かってともに歩んでいきたいと願っております。

山元町ふれあい産業祭り



11月18日(日)に山元町のつばめの杜中央公園において第8回山元町ふれあい産業祭が開催されました。寒さに震えた昨年とは打って変わって暖かい一日となりました。当日は多くの来場者で会場は賑わい、宮城病院のブースにもたくさんの方にお越しいただきました。当院ではストレスチェックや握力測定、写真撮影コーナーを設けました。ストレスチェック・握力測定では290名もの方に参加いただき、皆さんの健康への意識の高さを改めて実感しました。写真撮影コーナーでは子供用の白衣や看護衣、聴診器を用意しました。好きなものを試着し笑顔で写真におさまる姿はとてかわいらしかったです。同コーナーではパンダに扮した職員による風船配りも行っており、小さなお子様から小学生くらいの子まで大人気のようなでした。

お越しいただいた方には「いつも〇〇先生にお世話になっています」や「昔勤めていたんですよ」などとお声掛けいただく場面もあり、地域などとのつながりも感じることができました。

今後も地域とのつながりを深められるイベントへ積極的に参加していきたいと思っております。

(算定・病歴係長 相澤 和寿)

クリスマスパレード



毎年恒例となっております、クリスマスパレードが平成30年12月13日(木)に行われました。各職場から参加者を募って、サンタクロースに扮した職員が様々なクリスマスソングを演奏し、各病棟に一足早いクリスマスプレゼントを届けました。

長期入院されている患者さんは普段の生活に比べ季節を感じる機会が少ないため、少しでもクリスマスを感じてもらうため、

参加した職員は一生懸命練習し、当日に臨みました。その甲斐もあり、各病棟で患者さんにとっても喜んでいただくことができました。

毎年進化を遂げている「クリスマス楽団」によるパレードは入院患者さんやそのご家族だけでなく職員にももすばらしい音色を届けてくれました。来年はプロ並みになっているかもしれません。

(手術室看護師長 中山 光)

クリスマスイルミネーション



12月3日から12月31日までの間クリスマスイルミネーションを点灯しました。3年前にデザインのフルモデルチェンジをしてから、地域の方々からも好評です。実は、病院職員でデザインを考え、飾りつけ作業も自分たちで行っています。今回も、点灯日初日である12月3日に院長の合図で点灯し、みんなが「おおーっ！」と歓声を上げました。点灯期間中は患者さんや地域の方々も立ち止まって見ているのを見て、今年も成功の実感が湧いてきました。

点灯期間が終了し、片づける際には少し古くなってきているものもあり、来年はまた少しリニューアルできればと考えています。乞うご期待！

点灯期間が終了し、片づける際には少し古くなってきているものもあり、来年はまた少しリニューアルできればと考えています。乞うご期待！

(契約係長 小野寺 慶陽)